



# 豊かな ウォーターフロント フォトコンテスト 2008

本コンテストは、写真を通じて海辺や港の四季折々、津々浦々の姿を表現していただき、ともすれば港と疎遠になりがちの方々に対してその素晴らしさを再認識していただくと共に、ウォーターフロントの景観への意識を高めることを目的としています。

ウォーターフロントフォトコンテストも今年で17回目となり、「海とみなと——その歴史・役割・観光」というテーマに対して、668点もの応募がありました。いただいた作品に対して、平成20年10月17日に厳正なる審査を行った結果、次の通り素晴らしい入選作品を決定させていただきました。

テーマ

## 海とみなと—— その歴史・役割・観光

入賞作品

- |             |                |
|-------------|----------------|
| 国土交通大臣賞     | 芝崎静雄 (愛媛県波止浜)  |
| 国土交通省港湾局長賞  | 渡辺アツシ (北海道函館港) |
| 日本港湾協会会長賞   | 井上敏和 (京都府伊根湾)  |
| 港湾海岸防災協議会長賞 | 西田叔弘 (三重県和具港)  |
| 北海道開発局長賞    | 松崎紘一 (北海道生花苗沼) |
| 東北地方整備局長賞   | 森住雄一 (山形県酒田港)  |
| 関東地方整備局長賞   | 原田恵一 (東京都東京港)  |
| 北陸地方整備局長賞   | 太田誠二 (新潟県新潟港)  |
| 中部地方整備局長賞   | 望月信明 (静岡県清水港)  |
| 近畿地方整備局長賞   | 木下正治 (福井県若狭湾)  |
| 中国地方整備局長賞   | 加藤昭七 (広島県広島港)  |
| 四国地方整備局長賞   | 竹村悦子 (愛媛県宇和海)  |
| 九州地方整備局長賞   | 小方一男 (福岡県北九州港) |
| 沖縄総合事務局長賞   | 山中健次 (沖縄県本部港)  |

佳作

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 溝端 均 (岡山県日生港)    | 中野佳則 (香川県豊浜の宮海岸) |
| 小澤 宏 (神奈川県早川漁港)  | 石岡穂積 (青森県八戸港)    |
| 照屋好昭 (沖縄県仲泊海岸)   | 本橋省吾 (東京都東京港)    |
| 伊藤克彦 (兵庫県新舞子港)   | 多和裕二 (東京都東京港)    |
| 岡本芳隆 (神奈川県横須賀港)  | 中野久明 (石川県七尾港)    |
| 中田康之 (岡山県宇野港)    | 平野昌子 (神奈川県横浜港)   |
| 吉澤 恒 (神奈川県横浜港)   | 浜中義孝 (東京都東京港)    |
| 三原賢士 (大分県葛港)     | 早川英夫 (千葉県大原海岸)   |
| 本間浩一 (神奈川県横浜港)   | 横山宣明 (東京都東京港)    |
| 藤浪正剛 (静岡県清水港)    | 柴田洋子 (北海道大樹漁港)   |
| 角場 薫 (島根県御津漁港)   | 石山祐司 (北海道釧路港)    |
| 小野普市 (東京都東京港)    | 西浦正洋 (兵庫県神戸港)    |
| 杉山元次 (静岡県大瀬崎海岸)  | 中西康治 (沖縄県石垣港)    |
| 山崎秀司 (鳥取県赤崎漁港)   | 因幡繁之 (岩手県大船渡港)   |
| 佐藤芳恵 (新潟県新潟港)    | 大木知子 (愛知県三河港)    |
| 藤田良寿 (香川県高松港)    | 宮里幸吉 (沖縄県長浜ビーチ)  |
| カマタニヒサト (岩手県宮古港) | 鈴木康友 (神奈川県横浜港)   |
| 武田敏久 (青森県小舟渡海岸)  | 平野芳弘 (大分県のが浜海岸)  |
| 岩中照子 (石川県七尾港)    | 田中和夫 (神奈川県小坪港)   |
| 小高祐佑 (神奈川県横浜港)   | 日高健次 (宮城県日南海岸)   |

主催・後援・協賛・審査員

- 〔主催〕 (社)日本港湾協会、港湾海岸防災協議会  
 〔後援〕 国土交通省  
 〔協賛〕 富士フィルムイメージング(株)  
 (社)日本外航客船協会  
 (社)日本旅客船協会  
 (社)日本マリナー・ビーチ協会  
 (社)ウォーターフロント開発協会  
 (財)港湾空間高度化環境研究センター  
 (財)港湾空港建設技術サービスセンター  
 〔審査員〕 (順不同・敬称略)  
 齋藤 潮 (東京工業大学教授)  
 廻洋子 (淑徳大学教授)  
 富岡畦草 (写真家)  
 松野正雄 (写真家)  
 茶谷 茂 (写真家)  
 小野憲司 (国土交通省港湾局海岸・防災課長)  
 福田 功 (国土交通省港湾局国際・環境課長)  
 鬼頭平三 ((社)日本港湾協会 理事長)

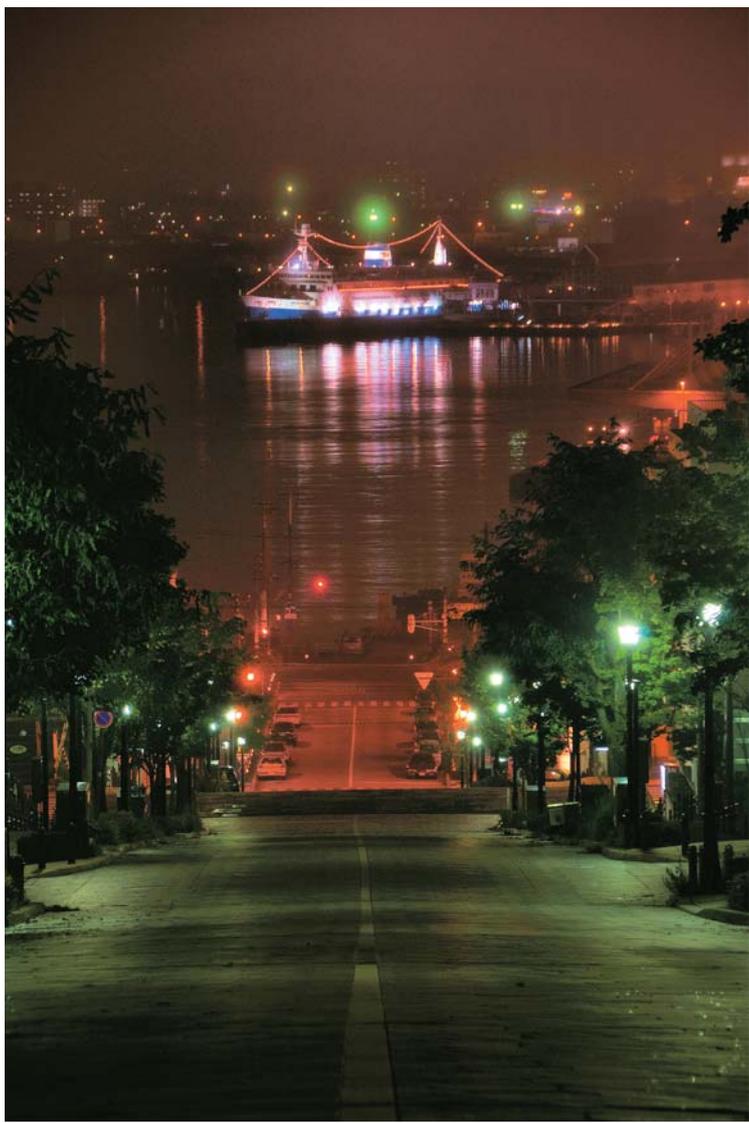


国土交通大臣賞 芝崎静雄 (愛媛県波止浜)

### 『進水式』

タンカーでしょうか、進水した瞬間を、真正面からとらえたカメラポジションとシャッターチャンスが的確で、船体の巨大さと重量感を見事に表現しています。端正な画面構成に加え、風にゆれるカラフルなテープの流れが進水式の華やかな雰囲気盛り上げていますし、参列者との対比で船体の大きさもよく出ています。





実にファンタジックな雰囲気を持った作品です。高台から函館港を見下ろす風光明媚な場所で、観光写真ではよく見られるアングルですが、夜の静かな時間帯を狙ったのが良く、ライトに照らされた道路と街路樹の色の変化が、不思議なムードを盛り上げています。正面に写るライトアップされた船と、水に映るにじんだ光が、夜の函館港を美しく描き出しています。



国土交通省港湾局長賞  
渡辺アツシ (北海道函館港)



『続く…』

WATERFRONT  
PHOTO CONTEST '08



一階に船着場を設ける独特の文化を持つ伊根漁港の民家。雪の降りしきる夕暮れの光景を、巧みな技法でとらえているのが見事です。長時間露光(2分間)の間にフラッシュを弱めに同調させたのでしょう。重厚な色調の中に雪が白い粒状に表現されアクセントをつけていますし、家からまれるあたたか味のある部屋の明りも印象的で、生活のにおいも感じられる秀作です。



日本港湾協会会長賞 井上敏和 (京都府伊根湾)

『雪の夕暮れ』



大波が打寄せる志摩の海岸、海女たちも突然の大波に驚いているのでしょうか。多分、撮影会か何かのイベントなのでしょう、昔ながらの海女さんスタイルの姿が快晴の空と岩に砕ける白い大波に映えて、スカッとした迫力のある画面をつくり上げています。

波とたわむれる子供たちの登場も幸運でした。



港湾海岸防災協議会長賞 西田叔弘 (三重県和具港)

『強風の日』

WATERFRONT  
PHOTO CONTEST '08



北海道大樹町の生花苗の海に静かに昇る朝陽。その神秘的な光景を、500ミリの超望遠レンズを使ってとらえ、荘厳な雰囲気を感じられる作品に仕上げているのが見事です。手前の風景のとり入れ方も的確で、樹々のシルエットと小さな船が効果的に生かされ、日の出の美しさとともに、朝の清々しい空気が伝わってきます。



北海道開発局長賞 松崎紘一 (北海道生花苗沼)

『朝陽』



酒田港の特色ある景観を、うまいカメラポジションから狙った画面づくりがよく、朝陽に照らされた紅葉と、整然と並ぶ倉庫群の尾根が印象強く感じられます。水に映る木々の様子も、酒田港の朝の静かな風情を描き出しています。



東北地方整備局長賞 森住雄一 (山形県酒田港)

『静かな夜明』

WATERFRONT  
PHOTO CONTEST '08



今までにない視点の作品です。旅客機の窓からの撮影だと思いますが、東京湾に浮かぶ広大なコンテナヤードを、一瞬のチャンスを逃さずに画面いっぱいになめた技量が見事です。

コンテナ基地は海上輸送には欠かせない重要な施設です。



関東地方整備局長賞 原田恵一 (東京都東京港)

『コンテナヤード俯瞰』



朝でしょうか、夕方の光でしょうか、対岸の高い場所から、望遠レンズを使って写したのだと思いますが、斜光に照らされたイカ釣り漁船と、その船影が創り出した不思議な造型で、端正な画面構成の中にここよい雰囲気が出されています。



北陸地方整備局長賞 太田誠二 (新潟県新潟港)

『イカ釣り漁船の光と影』

WATERFRONT  
PHOTO CONTEST '08



ローアングルから見上げるように写した画面づくりが的確で、力強い画面構成から荷揚げ作業の臨場感が伝わってきます。

青空に浮かぶ冷凍マグロからの冷気もよく描写されていて、迅速に作業を進める人々の緊迫感も感じられます。



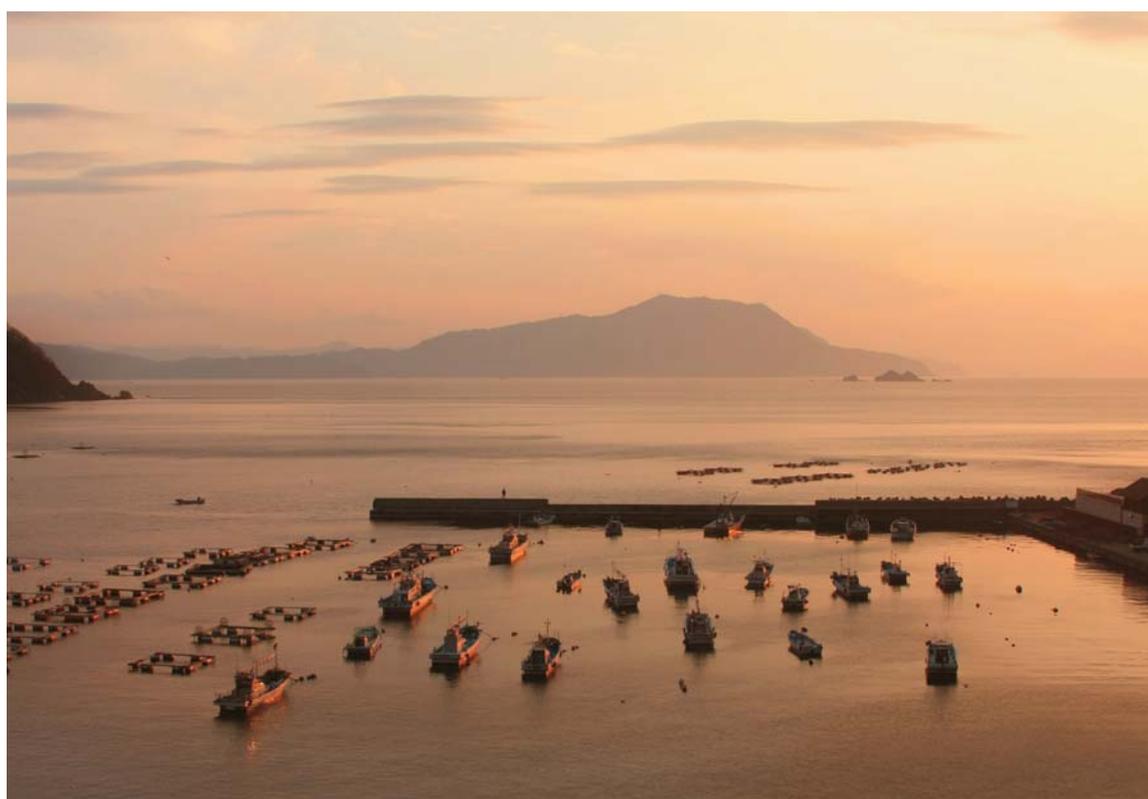
中部地方整備局長賞 望月信明 (静岡県清水港)

『迅速作業』



油絵を見るような色調に仕上げられた画面づくりが魅力です。

防波堤に囲まれた静かな若狭湾に繋留された漁船群に夕陽が射しこんだ夕暮れどきの美しい風景を端正な構図に納め、ゆったりとした時間の流れが感じられる秀作です。



近畿地方整備局長賞 木下正治 (福井県若狭湾)

『不変の夕景』

WATERFRONT  
PHOTO CONTEST '08



広島港での花火大会。水上花火を遊覧船のシルエットを上手にとり入れながら、シンメトリーな構図で狙ったのが功を奏し、華やかな光景を描き出しています。

データを拝見すると1秒間露光とのこと、花火の光跡が少し流れている描写がムードを盛り上げているようです。



中国地方整備局長賞 加藤昭七 (広島県広島港)

『彩色湾』



宇和島は真珠の養殖が多いのでしょうか。瀬戸内の風景の中に整然と並ぶ、養殖イカダと作業小屋をバランス良く写し込んだ画面づくりが上手です。

手前の土手と樹の枝のシルエットが画面をひきしめ、遠景の島々の様子とともに、静かな内海の風情をよく描写しています。



四国地方整備局長賞 竹村悦子 (愛媛県宇和海)

『真珠の養殖』

WATERFRONT  
PHOTO CONTEST '08



遠泳競技大会なのでしょう。美しい関門海峡を懸命に泳ぐ人々を応援するための放水のようですが、すっきりと晴れ渡った青空に放たれた水の勢いが迫力があり、泳ぐ人々のはげしい水しぶきと相まって、遠泳大会の熱気が伝わってきます。



九州地方整備局長賞

小方一男

(福岡県北九州港)

『放水で応援』





沖縄の島々を結ぶ連絡船なのでしょう。船上で、思いおもいにひとときを過ごす人々の様子を見ていると、実にいろいろな過ごし方をしているようで、船旅の楽しさが伝わってきます。

左右に青い海と白い波を写しこんだ画面づくりもお見事です。



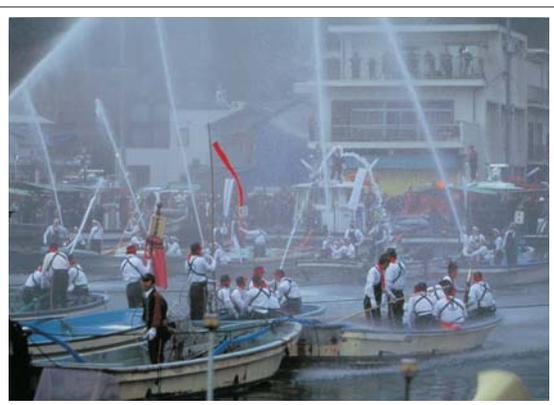
沖縄総合事務局長賞 山中健次 (沖縄県本部港)

『島航路』

WATERFRONT  
PHOTO CONTEST '08



総評にも記した通り、様々な狙いで寄せられた作品が揃いましたが、ご覧のようにどれも素晴らしい作品で、作者の想いが伝わってきます。そして、海に囲まれた日本では、海と人々とのかかわりがいかに深く、多方向に活用されているかが再認識させられます。次回も皆さんの発見した、豊かなウォーターフロントの世界を、新鮮なカメラアイで捉えた作品を期待しています。



『放水合戦』

■溝端均 (岡山県日生港)

『いざ、出漁!』

■小澤宏 (神奈川県早川漁港)



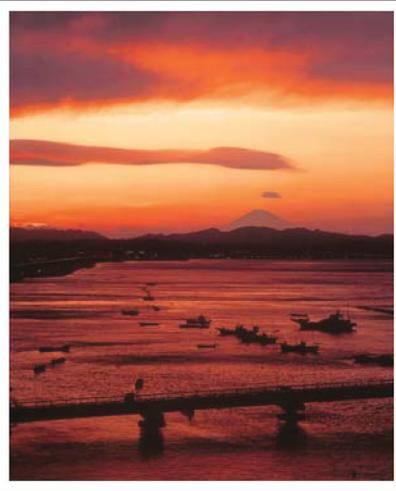
『休日』

■照屋好昭 (沖縄県仲泊海岸)

『黎明の渚』

■伊藤克彦 (兵庫県新舞子港)





『紅色に染る漁港』

■岡本芳隆 (神奈川県横須賀港)



『大型客船の寄港』

■中田康之 (岡山県宇野港)



『みなとの光』

■吉澤恒 (神奈川県横浜港)



『海ほたる』

■三原賢士 (大分県葛港)



『惜別』

■本間浩一 (神奈川県横浜港)



『夜の港』

■藤浪正剛 (静岡県清水港)



『暮れ行く御津漁港』

■角場薫 (島根県御津漁港)



『海の日の光景』

■小野普市 (東京都東京港)



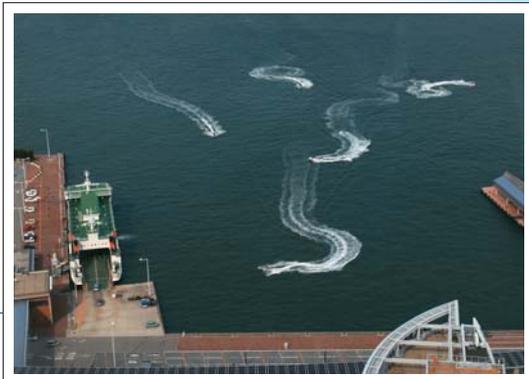
『大瀬崎祭り』

■杉山元次 (静岡県大瀬崎海岸)



『冬の漁港』

■山崎秀司 (鳥取県赤崎漁港)



■ 藤田良寿 (香川県高松港)

『サンポート高松港』



■ 武田敏久 (青森県小舟渡海岸)

『押し寄せる波』



■ 小高紘佑 (神奈川県横浜港)

『ヨコハマベイエリア』



■ 石岡穂積 (青森県八戸港)

『春の八戸港』



■ 佐藤芳恵 (新潟県新潟港)

『押す!』



■ カマタニヒサト (岩手県宮古港)

『宮古港』



■ 岩中照子 (石川県七尾港)

『キャンバスは防波堤』



■ 中野佳則 (香川県豊浜の宮海岸)

『初稽古』



■ 本橋省吾 (東京都東京港)

『水質浄化作戦』

『養浜できれいな浜辺に』

■ 多和裕二 (東京都東京港)



■ 中野久明 (石川県七尾港)  
『日本丸夕景』



■ 平野昌子 (神奈川県横浜港)  
『メガロポリス』



■ 早川英夫 (千葉県大原海岸)  
『はだか祭り』



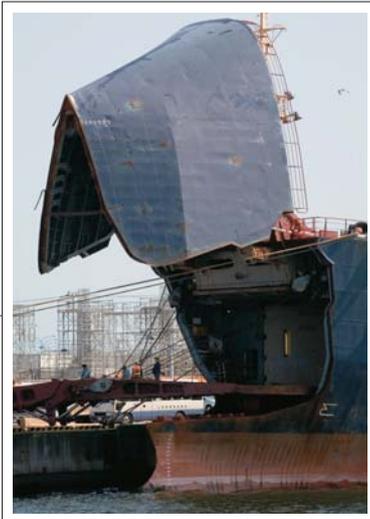
■ 浜中義孝 (東京都東京港)  
『出港飛鳥Ⅱ』



■ 柴田洋子 (北海道大樹漁港)  
『漁を終えて』



■ 横山宣明 (東京都東京港)  
『海の灯でオリンピック招致』



■ 西浦正洋 (兵庫県神戸港)  
『大きな口を開けて』



■ 石山祐司 (北海道釧路港)  
『蓮葉氷の港』



『喜びの海』

■ 中西康治 (沖縄県石垣港)



『車の旅立ち港』

■ 大木知子 (愛知県三河港)



『横浜港眺望』

■ 鈴木康友 (神奈川県横浜港)



『新春みかん投げ』

■ 田中和夫 (神奈川県小坪港)



■ 因幡繁之 (岩手県大船渡港)

『帆船「日本丸」』



■ 宮里幸吉 (沖縄県長浜ビーチ)

『楽しい夏休み』



■ 平野芳弘 (大分県のが浜海岸)

『みんなで海岸清掃』



■ 日高健次 (宮崎県日南海岸)

『座礁船曳航』

今回も沢山の力作が寄せられ、興味深く審査をさせていただきました。全国の港や海岸の景観は年々整備が進み、立派になっているのには驚かされます。一方、昔ながらの自然の美しさを保つために努力をする様子も多く見られました。伝統ある文化を受け継ぐ海辺の生活や産業、漁師の仕事ぶり、祭りや催事のスナップなどは是非残しておきたい光景も沢山ありました。

そして、最も多かったのは朝夕の美しい海岸の風景作品でし

ょうか。松崎紘一さんの「朝陽」、加藤昭七さんの「彩色湾」はその代表作といえるでしょう。芝崎静雄さんの国土交通大臣賞「進水式」の迫力のある作品をはじめ入賞作品は、それぞれ作者の視点が素直に読みとれる力作で、甲乙つけがたいものでした。

地域によって応募点数にばらつきがあったため、佳作にも秀作が多く、又、選外作品にも心残りのものが沢山ありました。全体的にとってもレベルが高かったことを記しておきます。